

就業奉行21



LANPACK
新ERP

※LANPACK、新ERPは開発中です。

就業奉行21

●Aシステム	200,000円
●Superシステム(モデム対応版)	
・3ライセンス	300,000円
・5ライセンス	350,000円
・10ライセンス	450,000円
・追加ライセンス(10ライセンスを超える場合)	
1ライセンス	25,000円
●LANPACK(開発中)	680,000円～
●新ERP(開発中) [3クライアント例]	1,298,000円 (88,000円)

※()内は1年間のO.M.S.料金をです。
※Microsoft Office Server 2003のバンドルパックです。
※同数の5クライアントライセンス付きの価格です。

就業管理21なら、めんどろな勤怠管理もスムーズに。

タイムカードそのままのイメージを再現した画面で、日々の勤怠データ入力が可能。出勤時間、遅刻時間、残業時間などは自動計算します。

■勤怠データの入力画面 (タイムカード入力)

■勤怠データ入力もスムーズです!

社員数が多くなればなるほど、残業時間などの計算は面倒です。

就業奉行21では、簡単な設定をするだけで、あとは出勤・退社時間などを入力するだけで、残業時間や遅刻時間等を自動計算します。

もちろん、その月の各項目の合計時間も自動集計します。

日・週・月ごとに集計できる管理資料や、未打刻一覧表なども出力できるので、勤怠データの確認も簡単です。

■タイムレコーダの使用も可能です!

OBCのタイムレコーダを使用すれば、更に便利です。

就業奉行21では、OBCのタイムレコーダとの直接連動が可能です。タイムレコーダに打刻されたデータを、そのまま一気に就業奉行21へ転送することができます。

勤怠データの入力作業に掛かっていた時間を、まるごと省力化することができます。

■給与計算ソフトとの連動も可能です!



就業奉行21で管理している勤怠データを、そのまま給与計算に使用できればと思いませんか。OBCの給与計算ソフト「給与奉行21」を使用すれば可能です。就業奉行21で集計した勤怠データを、給与奉行21で使用できます。これにより、勤怠管理・集計から給与計算と一括で処理することができます。

勤怠データ
の転送

■製品の仕様

管理可能会社 および処理人数	最大1,000社(1社9,999人まで管理可能)、社員コード英数字6～10桁
所属登録件数	最大9,999件。5階層まで登録することが可能。部門コード英数字3～5桁
給与体系	9,999種類(給与体系コード数字4桁) 給与体系を使用することによって、部門・社員ごとに残業項目名の設定が可能です。
勤務体系登録件数	99件(コード数字2桁)
カレンダー登録件数	9,999件(コード数字4桁)
会社休日登録	按照日20件 会社休日20件
タイムレコーダ登録件数	最大9,999件
郵便番号辞書	全国の郵便番号を網羅
休暇・復職管理	休暇・退職・復職処理が可能
増減処理	会社単位あるいは勤務体系別の増減処理が可能

タイムレコーダ連動※	タイムレコーダからの勤怠データをそのまま読み込み、自動連動、自動計算処理が可能 タイムレコーダ複数台接続 最大31台(機種により異なります)
入力機能	タイムカード入力、就業日報入力、就業週報入力、就業月報入力、未打刻入力
汎用データ作成	社員情報データ、日次就業データ、月間勤怠集計データをTEXTデータ(3欄)にて HD/FDへ転送が可能
汎用データ受入	当社指定フォーマットで作成されたデータの受入れ(社員情報、就業データ、勤怠データ)
就業管理用帳票	タイムカードリスト、就業日報、就業週報、就業月報、未打刻一覧表、事由一覧表など 豊富な管理資料が画面表示・印刷にて作成可能
事由区分	21区分(固定11+予備10)
打刻回数	出勤・退社・外出・再入の1日4打刻まで対応

※OBCタイムレコーダが必要です。